



いのち 生命のにぎわい調査団

いのち

生命のにぎわい通信

第1号: 発行日 2008.10.16.



2008年秋臨時号

生命のにぎわい調査団の状況
ヒガンバナ報告結果のまとめ
イチヨウ・カエデの報告について
学校ビオトープフォーラムの開催
千葉県立中央博物館からのお知らせ

発行：千葉県生物多様性センター

生命のにぎわい調査団の状況

調査団発足から2ヶ月！！今の調査団の状況は？

この表は2008年10月15日現在の調査団員の状況です。

市町村		団員	市町村		団員	市町村		団員
千葉市	中央区	7	市原市	10	印旛郡	酒々井町	0	
	花見川区	4	流山市	1		印旛村	0	
	稲毛区	1	八千代市	1		本埜村	0	
	若葉区	4	我孫子市	5		栄町	0	
	緑区	11	鴨川市	1	香取郡	神崎町	0	
	美浜区	6	鎌ヶ谷市	1		多古町	0	
	銚子市	0	君津市	2		東庄町	0	
市川市	8	富津市	4	山武郡	大網白里町	0		
船橋市	9	浦安市	1		九十九里町	1		
館山市	1	四街道市	2		芝山町	0		
木更津市	2	袖ヶ浦市	1		横芝光町	0		
松戸市	5	八街市	2	長生郡	一宮町	1		
野田市	3	印西市	0		睦沢町	0		
茂原市	0	白井市	0		長生村	3		
成田市	3	富里市	0		白子町	0		
佐倉市	8	南房総市	2		長柄町	0		
東金市	3	匝瑳市	1		長南町	1		
旭市	0	香取市	8		夷隅郡	大多喜町	0	
習志野市	4	山武市	3	御宿町		0		
柏市	2	いすみ市	2	鋸南町		0		
勝浦市	1					合計	135	

全体で135名。まだまだ網羅されていない地域もあり、絶対数も少ない状況です。団員の少ない地域、いない地域にお知り合いの方がいましたら、ぜひ入団を勧めてみてください。もちろん、この「にぎわい通信」を偶然見かけた貴方がまだ団員でなかったら、早速入団をお願いします。団員が多ければ多いほど、発見の機会も増え、季節報告の誤差も埋まっていくはずです。

生命のにぎわい調査団の入団申込書が必要な場合は、生物多様性センターに直接お問い合わせいただくか、生物多様性センターホームページからもダウンロードできます。



撮影:鳥見坊主

シロバナヒガンバナ

白いヒガンバナ。時々見かけますね。団員の方から赤いヒガンバナの開花報告と一緒に写真が送られてきました。



撮影:望月正樹

南方種:クロコノマチョウ

調査対象種のナガサキアゲハと同じように南の方から生息域を拡大している南方種のひとつです。団員の方から発見報告です。県立中央博物館の生態園でも発見されています。



ヒガンバナ報告について

ヒガンバナの開花報告をまとめてみました。

ヒガンバナの報告は9月9日の開花報告を皮切りに、9月27日までの19日間続きました。ピークは19日から21日。今年はちょうど彼岸の入りに当たったみたいです。気象庁の発表では銚子市で9月27日に開花ということでした。ちなみに昨年は9月23日、平年は9月19日となっていて、今年は銚子では平年より8日開花が遅かった様です。団員の中からも今年は開花が遅いとコメントをいただいた地域もあります。ヒガンバナは日平均気温が20～25℃になると開花するといわれています。今年銚子の日平均気温が25℃を下回ったのは9月4日が最初。過去30年の平均では8月20日以降で既に25℃を下回っています。開花時期の遅れは日平均気温の低下の遅れによるものでしょうか。



ヒガンバナの開花時期ですが、気象庁では他の花と同様に数輪の花が咲いた日としています。ヒガンバナが群の中で1輪咲いてから、半分近くが開くまで、2～4日かかります。これを団員ごとの判断誤差としても、開花時期に1週間以上の誤差は生まれないはずで

す。ただ、団員の報告の中には、満開の写真が添付されたものもありました。満開時の報告だと、少し誤差が大きくなります。来年はぜひ同じ場所で、数輪咲いた段階で報告してみてください。

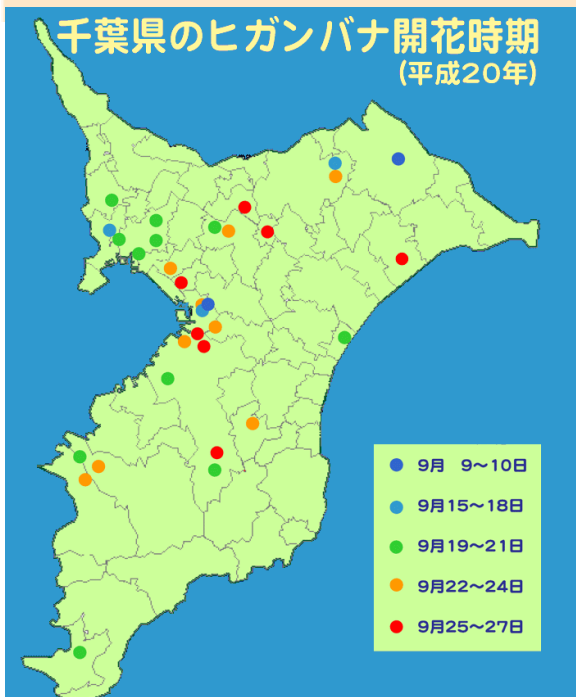


ヤマトタマムシ 今年はヤマトタマムシが多かった？

今年はヤマトタマムシが多かったのか……。何人かの団員の方から、「今年はよく見る」との報告をいただきました。長年自然に親しんでいる方々からすると、数の多い少ないを感覚的にとらえることができるのでしょうか。この調査を通じて、そのあたりが数字として現れるようになるといいですね。

ヤマトタマムシは炎天下、エノキ等の樹上などを飛び回ります。飛んでいても、この光沢色が光を反射して見つけやすい虫です。今年発見できなかった人は、ぜひ来年がんばって探してみてください。

ヒガンバナは開花時に葉がなく、あらかじめ場所を探すのは難しかったかもしれません。見つけたときには既に満開で報告できなかった人もいたかと思います。場所が分かっていたらいいもの。今年報告できなかった団員も、来年はぜひ報告してくださいね。



一番上の写真だと群が小さくて様子が分かりづらいですが、開花の初めには違いありません。二段目のノバアさんの写真がちょうど数輪咲いた状態(=開花)でしょうか。下のトモアツさんの写真では手前はほぼ満開に近いですが、奥のところはやはり数輪咲いた状態で開花時期と判断してよいかと思います。来年はこのあたりを基準に、開花時期の精度を高めていきましょう。





いのち

生命のにぎわい調査団

イチョウ・カエデの報告

ヒガンバナの報告が終わり、植物の方の次の季節報告はイチョウとカエデの黄葉(紅葉)です。黄葉(紅葉)はその樹木の緑色の葉が一枚も無くなったとき(全部黄色か赤色になったとき)です。できれば報告する樹木=My Treeを決めて報告してみてください。同じ木で毎年報告してもらおうと変化がつかみやすいですね。

気象庁の生物季節観測ではカエデはイロハモミジ以外にもヤマモミジ・オオモミジ・イタヤカエデなどが入りますが、千葉県の場合はほとんどイロハモミジで比較ができそうです。団員募集のチラシには「カエデ」とだけ書いてありますが、調査対象種はイロハモミジに統一してみたいです。もし、イロハモミジが近くに見つからない場合はこれらの種で代用してもかまいません。そのときは報告のコメント欄に必ずそのことを記入してください。

イチョウは雌雄異株の植物です。雄雌で黄葉時期が異なるかはわかりません。雄株(♂)は5月に樹の下に落花が見られ、雌株(♀)は銀杏と呼ばれる実を実らせます。



イロハモミジ (タカオカエデ)

例年どおりだと紅葉は11月の下旬から。県の南の方では12月に入るところもあります。



イチョウ

黄葉はイロハモミジより10日ほど早い11月中旬。

鎌倉時代から室町時代の前半に中国から渡来した外来種だが、東京都の木になるなど、日本でも古くから親しまれている。

千葉県の紅葉スポット

亀山湖(君津市)、かじか橋(南房総市)、本土寺(松戸市)、成田山(成田市)、志駒川(富津市)、養老溪谷(市原市)

生物多様性センターからのお知らせ

学校ビオトープフォーラムを開催します

このフォーラムでは、ビオトープの整備・活用を実際に行っている児童・生徒や教職員などからその方法や課題を直接聞いたり、県立中央博物館の生態園を管理している専門家から水辺や植生の管理、観察の方法などについて学ぶことができます。

学校ビオトープの管理等に携わる教職員や児童・生徒、保護者、NPOの皆様、学校ビオトープに興味のある皆様の参加をお待ちしています。

- 1 日時 平成20年11月8日(土) 午前10時から午後4時
- 2 場所 千葉県立中央博物館
- 3 定員等 定員200名(当日先着順) 参加費無料
- 4 内容
 - (1) 生態園観察会(10:00~12:00) ※参加者は、受付で①、②のいずれかを選択
 - ① 水辺や池、植生の復元・管理の講習(主に教職員向け)
 - ② 生き物観察「森の調査隊」(主に児童・生徒や保護者向け)
 - (2) 発表会(13:00~16:00): 講堂、研修室
 - ① 基調講演「子どもの感性を育む自然体験」(県立中央博物館 中村俊彦)
 - ② 学校ビオトープの整備や活用の事例発表(児童等によるポスターを使った発表)
 - ③ パネルディスカッション
- 5 主催 千葉県(生物多様性センター)
千葉県教育委員会(県立中央博物館)
- 6 問い合わせ 千葉県生物多様性センター(043-265-3601)

※ビオトープとは

ビオトープとは、ギリシャ語の「生物」を意味する Bios と「場所」を意味する Topes を語源としたドイツ語で、直訳すると「生物の生息・生育空間」となります。県では、「多様な、または貴重な野生生物が生息・生育する空間であり、その状態を保持または目指して管理される場所」と定義しています。





いのち
生命のにぎわい調査団

千葉県立中央博物館からのお知らせ

企画展

発掘された**日本**列島 2008

発掘された重要な遺跡・遺物の最新情報

平成20年11月1日(土)～12月14日(日)

みんなの観察会

「とりの声キャッチ名人」

今聞こえる声はなんの声？

どんな鳥の声が録音できるかな？

はじめてでも、だいじょうぶ。

「ききみみずきん」が助けてくれます。

世界に10台、中央博物館だけの生物音声識別装置です。

冬の音をキャッチ 1 11月 8日(土)

冬の音をキャッチ 2 11月15日(土)

冬の音をキャッチ 3 11月22日(土)

冬の音をキャッチ 4 11月29日(土)

※4回とも内容は同じです。連続講座ではありません。

対象：小学3年生からおとなまで

受付場所：千葉県立中央博物館 生態園 **野鳥観察舎**

受付時間：午前 10:00～11:30

午後 13:00～14:30

(所要時間は20～30分)

◎ 装置の台数に限りがありますので、受付はどうぞお早めに。

◎ 活動後に「ふりかえりシート」にご記入・ご提出くださった方には、中央博物館オリジナル「野鳥カード」をさしあげます。

問 合 先：生態学研究科 大庭(FAX043-266-2481)

毎年日本では9,000件をこえる発掘調査が行われています。なかでも、近年特に注目される14遺跡、約400点の出土品を集めてみました。また今回は、世界文化遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」や特別史跡「高松塚古墳」の発掘調査結果についてもあわせて紹介します。ドキドキ・ワクワクしながら、日本列島に暮らした先人の足跡をたどってみませんか。

企画展は今回生物多様性にあまり関係がありませんが、昨年世界文化遺産に認定された「石見銀山遺跡」や、保存のために解体作業を行った「高松塚古墳」など、貴重な資料がいっぱいです。ぜひ、この機会に中央博物館に足をお運びください。その際には、「房総の生物」「自然と人間のかかわり」などの部屋も覗いてみて下さいね。

みんなの観察会「とりの声キャッチ名人」は、いろいろな鳥の声を聞き分けるチャンス。ひよとしてモズの声も聞けるかも。

中央博物館では他にも様々な行事を予定しています。詳細は下記にお問合せください。

11月の生きものに関わるその他の行事

日	曜	時間	行事名	場所	対象	定員
1	土	10:30-12:00	生態園植物観察入門 木の実のいろいろ	生態園	小学生以上	20名
3	月祝	10:00-16:00	秋の植物観察会	館山市	小学生以上 小学生は保護者同伴	30名
9	日	10:00-16:00	土壌動物入門 -生きた土の中の生き物を見る-	研修室	中学生以上	20名
16	日	10:30-15:30	里山観察会 木の実 申込は房総のむら(0476-95-3333)	房総のむら	小学生以上	40名
22	土	13:00-16:00	山の学校 -晩秋の里の生きもの-	君津市	どなたでも 小学生以下は保護者同伴	40名
29	土	10:30-12:00	生態園植物観察入門 根っこのさまざま	生態園	小学生以上	20名
30	日	13:30-15:00	バラの歴史	研修室	中学生以上	20名

※行事の詳細については中央博物館にお問い合わせください。

千葉県立中央博物館

〒260-8682

千葉市中央区青葉町 955-2(青葉の森公園内)

TEL 043-365-3111 FAX 043-266-2481

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

生命のにぎわい通信 第1号

2008年10月16日発行

発行元：千葉県環境生活部自然保護課

生物多様性戦略推進室

生物多様性センター

〒260-0852 千葉市中央区青葉町 955-2

(千葉県立中央博物館内)

TEL 043-265-3601 FAX 043-265-3615

URL:<http://www.bdcchiba.jp/monitor/>

Email:monitor@bdcchiba.jp